札幌管区気象台　150年の歩み

気象台の歴史と観測所の変遷

- **1876年9月1日**　石狩国札幌区東創成通り教師館内（現中央区南2条東1丁目）で観測を開始
- **1878年6月30日**　石狩国札幌区東創成通り開拓使民事局地理課内（現中央区北3条東1丁目）に移転
- **1878年9月30日**　石狩国札幌区山越通り（現中央区北4条西2丁目1）に移転

1883年 札幌での地震計による地震観測開始

- **1890年8月1日**　石狩国札幌区の西北端（現北区北8条西9丁目1）に移転

1926年 十勝岳噴火

- **1928年6月3日**　北海道でラジオによる天気予報開始（NHKラジオ）

1892年 札幌での天気予報の発表開始

- **1939年7月1日**　札幌市北2条西18丁目2に移転（現在地）
  8月11日　北海道で始めて天気図が新聞に掲載（北海タイムス）

1940年 ラジオゾンデによる高層気象観測開始

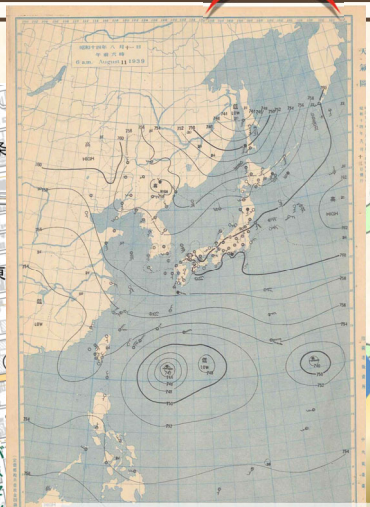
1954年 洞爺丸台風

- **1957年2月1日**　北海道でテレビによる天気予報開始（NHK）

その後も北海道の天気や地震・火山を見守り続け・・・

2026年9月1日　札幌管区気象台150周年！

札幌管区気象台の観測場所の変遷



1939年8月11日の天気図

出典：国土地理院ウェブサイトhttps://www.gsi.go.jp/kikakuchousei/kikakuchousei40182.html

札幌管区気象台 令和７年７月 作成